



～いばらき **花**名所～

国営ひたち海浜公園

SEASIDE PARK

PRESS RELEASE

2010年1月19日

～季節の花便り～

冬の貴婦人 **クリスマスローズ** が咲き始めました!

バードウォッチングのススメ! その2 海浜公園で見られる冬鳥たち



クリスマスローズ「ルーセローズ」

(平成22年1月17日撮影)

ややうつむきかげんに花を咲かせる姿が可憐で趣深い、「**クリスマスローズ**」が咲き始めました。その漂う気品から“冬の貴婦人”とも呼ばれている花です。

ひたち海浜公園では、寒さの厳しい中ご来園いただいたお客様にお楽しみいただこうと、平成17年から「ワイルドバルブガーデン」や「香りの谷」等に公園ボランティアの協力により植え付けを行いました。

現在、**総数約2,700株**のクリスマスローズをご覧いただけるようになり、各種園芸誌などにもクリスマスローズが楽しめる公園として紹介されるようになりました。

熱心な愛好者も多いクリスマスローズの魅力を、是非、この機会にお楽しみください。

お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605-4

ひたち公園管理センター企画課 穂積・小堆・鈴木
電話 (029) 265-9005 FAX (029) 265-9339

※お客様問い合わせ電話番号 (029) 265-9001

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp>

“冬の貴婦人”

クリスマスローズが咲き始めました!



クリスマスローズ「リビタス」

キンポウゲ科ヘレボルス属

クリスマスローズ

原産地:ヨーロッパ

開花期間:12月下旬~4月下旬

現在、咲き始め

■特徴

寒さに強く、耐陰性のある常緑多年草です。草丈は高いもので30~40cm程度。ややうつむきかげんに花を咲かせる姿が可憐で趣深く、花の少ない12月から4月まで長く楽しむことができる人気の高い花です。花びらに見えるのは花弁ではなく「がく片」です。

白、黄、赤、緑などの花色が楽しめるほか、スポットと呼ばれる斑点(ソバカス)が入る品種もあり、バリエーションが豊かなことも魅力の一つです。

【ひたち海浜公園のクリスマスローズ】

本公園では、花の少ない冬の時期に公園を彩る花として楽しんでいただこうと、平成17年、公園ボランティア「ひたちガーデナーズ倶楽部」と「ハーブパートナー」の皆さんが、それぞれ「ワイルドバルブガーデン」と「香りの谷」に植え付けを行いました。



香りの谷
約340㎡・約1,400株
平成21年4月25日撮影



ワイルドバルブガーデン
約320㎡・約1,300株
平成21年4月11日撮影

園内各所で総数約2,700株のクリスマスローズをご覧いただけます。

【ひたち海浜公園で楽しめるクリスマスローズの品種】

園内では、色や形のさまざまな 10 品種を4月下旬までお楽しみいただけます。最も早く咲き始めたのは「ルーセローズ」。スポット(ソバカス)が魅力的な品種です。次に咲き始めているのは「バレンタイングリーン」。バレンタインデーの時期に見頃を迎えます。咲き始めはオフホワイト、咲き進むにつれてグリーンに色が変わるのが特徴です。

3月にはいと様々な品種が咲きそろいます。人気があるのは原種に近い品種の「リビタス」。冬の寒さが厳しいほど黒味を帯びた大人っぽい紫色となります。咲き始めは黄色、咲き進むにつれて紫に色が変わる「エリックスミシィ」などもおすすめです。



クリスマスローズ「ルーセローズ」

ひたち海浜公園のクリスマスローズ10種

・ルーセピンク	・ルーセローズ
・ルーセホワイト	・バレンタイングリーン
・アプリコット	・ピュアホワイト
・ピコティ	・イエローブロッチ
・エリックスミシィ	・リビタス



クリスマスローズ「バレンタイングリーン」



クリスマスローズ
「ルーセホワイト」

【クリスマスローズ豆知識】

春に咲くのにクリスマス？ バラの仲間なの??

本来、「クリスマスローズ」とは「ヘラボレス・ニゲル」をさします。名前の由来は、冬咲きで、クリスマスの頃にバラのような花を咲かせることから付けられました。

「ヘラボレス・ニゲル」はヘレボルス属の1種ですが、日本ではヘレボルス属全体を「クリスマスローズ」と呼んでいます。

現在、日本で流通しているものの多くは、春咲きのオリエンタリス系の園芸品種(レンテンローズ)です。また、クリスマスローズはバラではなく、セツブンソウやフクジュソウなどと同じキンポウゲ科の植物です。

バードウォッチングのススメ その2

世界的には約 9,000 種の野鳥がいると言われ、日本では日本産鳥類として約 550 種がリストアップされています。

ひたち海浜公園は自然の河川や湖沼が無いので水辺の鳥はあまり見られません。一方で、広大な未開園エリアは自然度が高く、沢田湧水地など僅かな水辺にやってくる冬鳥やタカ類が開園エリアにも姿を見せてくれるので、十分にバードウォッチングを楽しむことができます。

当公園では今までに約 90 種類の野鳥が観察されています。とくに未開園エリアに接した「ひたちなか自然の森」や「スイセンガーデン」「ワイルドバルブガーデン」「ひなの林」「みはらしの里」などがお勧めで、身近な野鳥のほかにビンズイ、カシラダカ、シメ、アトリ、タヒバリ、ツグミ類などの冬鳥を見ることができます。運がよければ、カシラダカの中にミヤマホオジロという黒と黄色のコントラストの美しい希少な冬鳥が混じっているのを見つけられるかも知れません。しあわせの青い鳥と呼ばれる「ルリビタキ」は今冬も来園しています。

野鳥は種によって多く飛来する年とほとんど飛来しない年がありますが、今の時期は上記のようなエリアをゆっくり 2~3 時間歩けば、20~30 種の野鳥が観察されるでしょう。



ミヤマホオジロ

<公園ミニ便り>

平成 3 年に開園して以来、公園を見守り続けた西口「翼のゲート」が18年間の時を経て、ただ今、お色直しを行っています。春分の日から始まるスイセンファンタジーの時期には、リフレッシュした姿で皆様をお迎えます。(す)

改装工事の翼のゲート 平成 22 年 1 月 16 日撮影





香りの谷にて これから 1,360 本のクリスマスローズが開花予定です。(平成 22 年 1 月 9 日撮影)